
第 59 回 日本港湾経済学会全国大会

関西圏における国際物流機能

－コロナ禍における現状と課題－

2021 年 9 月 8 日 (水) 理事会

9 月 9 日 (木) 講演・共通論題・会員総会

9 月 10 日 (金) 自由論題



主催校: 近畿大学 / 開催校: 大阪商業大学

日本港湾経済学会第 59 回全国大会開催にあたって

日本港湾経済学会会長
松尾俊彦（大阪商業大学）

日本港湾経済学会の第 59 回全国大会は「関西圏における国際物流機能ーコロナ禍における現状と課題ー」をテーマに、近畿大学を主催校として 9 月 8 日（水）～10 日（金）の日程で開催されます。

第 59 回の全国大会は、2020 年の 9 月に開催される予定で準備が進んでいましたが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大により、残念ながら中止せざるを得ませんでした。エクスカージョンとして見学をお願いしていた関西空港はもちろんのこと、開催校へもご迷惑をお掛けすることになりはしないか、加えて参加される会員の皆様のご健康の心配もあり、常任理事会・役員会において苦渋の決断を下すこととなりました。

現在も感染症が収束しているわけではありませんが、ワクチン接種も進んでいることから、近畿大学を主催校として、また大阪商業大学をサテライトステーションとして、本年はオンライン併用で開催することとなりました。

例年、大会初日にはエクスカージョンが計画されますが、本年は防疫の点などもあって残念ながら中止となりました。

大会 2 日目は、記念講演、基調講演、そしてパネルディスカッションが行われ、国土交通省近畿地方整備局副局長の中村晃之氏による記念講演「関西圏における国際物流機能ーコロナ禍における現状と課題ー」が予定されております。次いで、インフラ経営研究所専務理事（前エアドゥ代表取締役）の小林茂氏による基調講演「新幹線と航空の特性とコロナ禍による影響、今後の展望」、そして同志社大学の金仙淑氏にも基調講演をお願いしております。続いて、近畿大学の横見宗樹氏をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われます。昨年からのコロナ禍において、物流や交通は大きな影響を受け、港湾や空港といった施設も大きな混乱が生じておりますが、パネルディスカッションを通して新たな研究課題が発見できるものと期待されます。

最終日には自由論題の報告会となりますが、地方港湾や貿易など、7 編の報告がオンラインで行われる予定です。

コロナ禍におけるオンライン併用の全国大会となりますが、どうか多くの会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

「関西圏における航空物流機能ーコロナ禍における現状と課題ー」

近畿大学 勝田英紀 花木正孝 横見宗樹

今大会のシンポジウムは、空の「港」である空港に焦点を当てて、「関西圏における航空物流機能〜コロナ禍における現状と課題〜」というテーマで開催する。3 空港を擁する関西圏を対象に、現下のコロナ禍における航空物流機能のポテンシャルに迫りたい。

長引くコロナ禍において、航空貨物需要は堅調に推移している。IATA（国際航空運送協会）によると、世界の航空貨物輸送量は 2019 年 3 月と比較してトンキロベースで 4.4%増加している。人流と異なり物流は感染症の直接的な影響を受けないことに加えて、人々の外出抑制にともなう電子商取引（e コマース）の増加や医薬品の輸送が増えたことなどが、その背景として考えられる。

同時に、旅客需要が急減したことにより、貨物スペースの供給が逼迫している。その結果として運賃が高騰しており、IATA によると世界の航空貨物輸送におけるイールド（実収単価）は 50%も増加している。一般的に、航空貨物輸送は、旅客機のベリー（床下貨物室）による輸送が 60%*を占めており、これがコロナ禍の現在では 30%程度*にまで減少していることから、既存の貨物専用機（フレイター）をフル稼働したところで需要を賄いきれず、このような運賃高騰を招いている。

世界の航空旅客需要は、新型コロナウイルスの世界的流行により大幅に減少した。ICAO（国際民間航空機関）によると、それまで右肩上がりに成長してきた世界の航空旅客数は、2019 年から 2020 年にかけて 60%も減少した。これにともなう航空会社の経済的損失は 3,710 億 US ドル（約 41 兆円）と推計されており、規模の多寡を問わず極めて多数の航空会社が未曾有ともいえる経営上の危機に瀕していることは周知のとおりである。このような状況のなかで、航空会社にとって貨物輸送は極めて重要な収入源となる。IATA によると、一般的に航空会社の総営業収入に占める貨物の比率は 10~15%であるが、2021 年には、これが 3 分の 1 を占めるまでになっている。

こうした航空貨物輸送をインフラとして支えるのが空港である。とりわけ、関西・伊丹・神戸の 3 空港を擁する関西圏は、こうした有事の際に物流機能の拠点としての役割を發揮することが期待される。なかでも関西国際空港は、深夜時間帯も離発着可能な 24 時間空港であることを活かして「国際貨物ハブ空港」としての機能強化に努めてきており、2010 年には国際貨物地区において、わが国で初となる「医薬品専用共同定温庫（KIX-Medica）」を設置したほか、2014 年には「フェデックス北太平洋地区ハブ」を開設するなど、国内有数の高機能な物流設備を充実させながら積極的に貨物便の拡大を進めてきた。

また、2016 年に関西・伊丹、2018 年に神戸を加えて、コンセッションによる民営化（運営権の譲渡）

が実施されたことで、現在は「関西エアポート株式会社」により、3空港が一体的に運営されている。こうした環境は、コロナ禍における物流機能を維持するうえで、より効率的な機能分担を図るなど、様々な可能性を秘めるものであろう。

現在、国際貨物は関西のみ、国内貨物は関西と伊丹が取り扱っており、神戸空港は貨物の取り扱いがない。今後、これらの3空港は、コロナ禍で需給が逼迫する航空貨物需要をどのように受け止め、そしてどのような役割や機能を発揮することができるのであろうか。今大会のシンポジウムでは、航空貨物輸送の現状と課題を整理したうえで、関西圏における航空物流機能のポテンシャルについて、産官学のパネリストより議論をいただく。

* 世界の国際航空輸送における有効トンキロベース（IATA 資料より）

【9月9日（木）】 大阪商業大学をサテライトスタジオとして、オンライン配信

基調講演・共通論題 ユニバーシティ・コモンズ リアクト1階【受付 12:45～】

13:00 会長挨拶

13:10 記念講演『関西圏における国際物流機能ーコロナ禍における現状と課題』

中村晃之氏（国土交通省近畿地方整備局副局長）

14:00 共通論題『関西圏における航空物流機能ーコロナ禍における現状と課題』

14:00 基調講演（1）「新幹線と航空の特性とコロナ禍における影響、今後の展望」

小林 茂氏（インフラ経営研究所専務理事、前エアドゥ代表取締役）

14:30 基調講演（2）「関西圏における空港の現状とコロナ禍による役割の変化」

金 仙淑会員（同志社大学）

15:10 パネルディスカッション

コーディネーター：横見宗樹会員（近畿大学）

パネリスト： 中村晃之氏 小林 茂氏 金 仙淑会員

16:00 会員総会

今回は、ZOOM によるオンライン開催となります。但し、ワクチン接種を終えられた方など（接種を絶対条件とするものではありません。）で、記念講演、共通論題に対面でのお参加を希望される方にもご参加頂けます。参加費用は無料です。

会場では、昼食・飲料、懇親会はご用意致しません。予めご了承下さい。

参加申し込みメール（または学会ホームページの「[お問い合わせ](#)」）は 2021 年 9 月 1 日（水）必着。申し込みを頂いた方向けに 2021 年 9 月 2 日（木）開催 URL をお送り致します。メールアドレスを必ずご明記ください。

【9月10日（金）】自由論題 オンライン開催

司会：花木正孝（近畿大学） 報告 30 分、質疑応答 10 分

① 9：30～10：15

「ステークホルダーの相互依存関係を前提とした空港経営のパフォーマンスに関する実証分析」

報告者：川島太郎（大分大学大学院）、大井尚司（大分大学）

② 10：25～11：10

「貿易・国際物流における品質管理－AEO 制度と ISO 制度に関する考察」

報告者：樋口洋平（日発運輸㈱）

③ 11：15～12：00

「コンテナターミナルにおけるトラック所要時間の短縮策について」

報告者：渡辺日佐夫（NPO 首都東京みなと創り研究会）

④ 13：00～13：45

「地域港湾振興における補助事業の役割－伏木富山港を中心に」

報告者：長田 元（富山短期大学）

⑤ 13：50～14：35

「石狩湾新港地域開発における土地利用計画の作成過程」

報告者：菊地達夫（北翔大学）

⑥ 14：45～15：30

「本州四国連絡橋建設に伴う政労協定の交渉過程分析－港湾労働者と船員労働者の雇用保障の比較」

報告者：鈴木 力（徳山大学）

⑦ 15：35～16：20

「鉄道開通以前の伊豆半島の水産物の流通」

報告者：岡田夕佳（東海大学）

今回は、ZOOM によるオンライン開催のみとなります。

事務局からの連絡・お願い

（1）学会年会費の納入

例年会場においてお取扱いしております会費の納入も 9 月 9 日（木）のみのお取り扱いとなります。

（2）配布資料 すべて PDF で行います。

（3）入場受付 入場後の受付などを行いません。ZOOM でのお名前を会員名の方で入室してください。

また、会員の方がお誘い頂いた、オブザーバー参加の方もご自由に入室してください。

ZOOM への入退出は自由に出来る設定とします。URL などのお取り扱いには十分ご注意ください。

報告者への質問・コメントなどは、チャット機能に随時ご記入ください。

（6）事前のご照会事項は、学会ホームページの「お問い合わせ」ページからご照会ください。

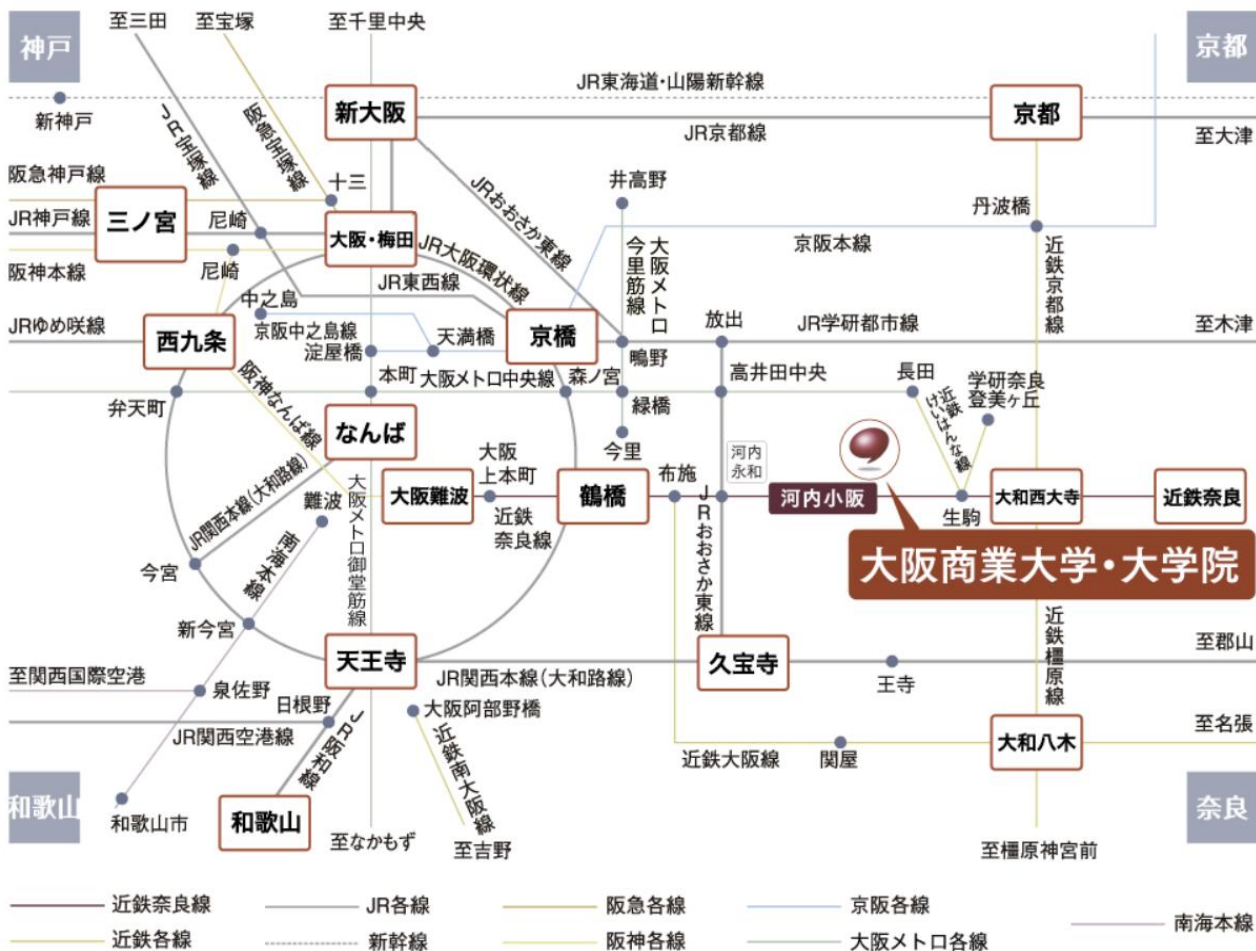
会場：ユニバーシティ・commons リアクト(University Commons re-Act)



近鉄奈良線 河内小阪駅（準急・
 区間準急・普通停車）下車、
 北口より徒歩約3分。



アクセスマップ



『大阪・梅田駅より21分』『奈良駅より33分』
 『京都駅より50分』『三ノ宮駅より45分』『和歌山駅より75分』